

Point. その④

移住者の呼び込み、暮らしやすい環境づくり

▶移住者受け入れ地域組織・団体創出事業

移住者のサポート、空き家掘り起し、移住関係取り組みのPR業務、体験イベントに取り組む団体を支援

Point. その⑤

住宅、働く場の確保など受け入れ環境の整備

(1) 住宅

▶単身向け、世帯向けの移住者住宅を年次的に整備

H23：単身4戸 H26：単身4戸 H27：世帯2戸 H28：世帯2戸

▶移住者向け空き家改修への支援

①一般：補助率1/2、上限100万円 ②若年世帯：補助率2/3、上限150万円

▶Uターン者、若年世帯向け住宅（実家含む）の新築、改築、購入への支援

①新築住宅：補助率1/2、上限150万円 ②既存住宅：補助率1/2、上限100万円

▶お試し住宅の整備 空き家を借り上げ、お試し住宅として整備

▶空き家の家財道具の一時保管や処分費用への助成、空き家への入居を仲介した人への奨励金

【家財道具保管】 無償で保管場所を貸し出し 【家財道具処分】 補助率10/10、上限40万円
【移住者の空き家入居あっせん】 奨励金：1件当たり3万円

▶コメや野菜を作りたい移住者向けの田畑付き空き家のあっせん

(2) 働く場

▶元日野サンプラザ有効活用事業

元日野サンプラザの建物を取得し、有効な活用方法を検討

▶町内での新たな起業、新分野進出による事業拡大などへの支援

【起業、異業種参入】 補助率1/2、上限50万円

▶町民を雇用した県西部地域の企業への支援

(3) 生活の利便性向上、事業所など誘致のための環境整備

▶高速ブロードバンド検討

Point. その⑥

生活支援

(1) 通勤・通学

▶移住者への通勤費の支援

通勤に要する実費（定期代または燃料費一通勤手当）：補助率1/2、月額上限1万5千円

▶JR伯備線利用促進事業

関係町村、県、商工会などからなる協議会を立ち上げ、根雨駅を中心とするJR伯備線の利用促進の検討、啓発を行う。

(2) 子育て・教育

▶日野町あゆ奨学金

U・I・孫ターンして、町内の小中学校、日野高校に入学または転入学する児童、生徒に返還不要の奨学金を給付

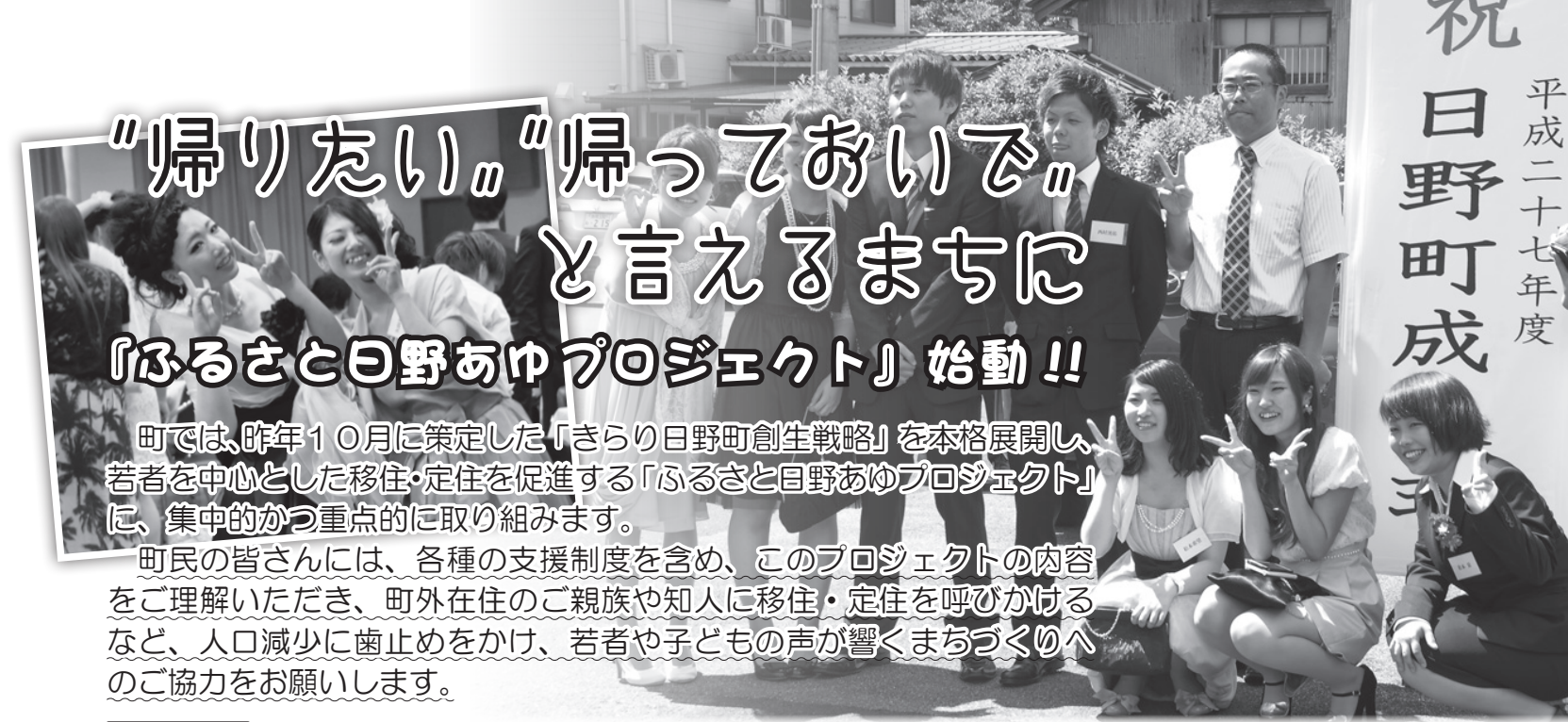
奨学金（給付型）額：1人当たり月額1万円

町外に転出している子育て世帯にオススメ!

町内在住の若者世帯も対象!



▲活用方法を検討中の元日野サンプラザ



“帰りたい” “帰っておいで”
と言えるまちに
『ふるさと日野あゆプロジェクト』始動!!

町では、昨年10月に策定した「きらり日野町創生戦略」を本格展開し、若者を中心とした移住・定住を促進する「ふるさと日野あゆプロジェクト」に、集中的かつ重点的に取り組みます。

町民の皆さんには、各種の支援制度を含め、このプロジェクトの内容をご理解いただき、町外在住のご親族や知人に移住・定住を呼びかけるなど、人口減少に歯止めをかけ、若者や子どもたちの声が響くまちづくりへのご協力をお願いします。

目的 米子をはじめ町外から町出身者を呼び戻す!

日野町からの転出超過の大半を占める米子市（4年間で415人転出）などから、日野町で生まれ育った人たちに、日野川を遡上するアユのように町に帰って来てもらうため、Uターン促進を最優先で取り組みます。

概要 Uターン促進施策をパッケージ化して、県内外に情報発信!

移住定住のきっかけづくりから情報提供・相談機能の充実、住宅や働く場の確保など、受け入れ環境の整備や生活支援に至るまで、Uターン促進の各種施策をセットにして、集中的に展開します。

おさえておきたいポイントを紹介!

Point. その①

町とのつながりを増やし強める

▶「ふるさと住民票」制度運用事業

町にゆかりのある町外在住者とのつながりを深めるため、「ふるさと住民票」を交付。町の情報提供やまちづくりへの参加を呼びかけます。

【提供サービス】 ふるさと住民カードの発行、ふるさと便（広報紙など）の発送、町特産品のモニター、町民との交流会開催

【対象者】 町出身者、ふるさと納税者、通勤者、元住民、町内学校の卒業生 など

▶ひの郷会の会員拡大、東京金持会など県人会への積極的参加、交流



▲ふるさと住民票カード

Point. その②

Uターンの働きかけ

▶町長メッセージの発信（町ホームページを活用） ▶移住者向けパンフレットの作成
▶住民によるUターン呼びかけ運動の展開

Point. その③

情報提供・相談機能の充実

(1) 移住情報の発信・提供

▶町ホームページの移住定住情報の充実

移住支援の各種制度紹介、空き家検索、移住者の暮らしぶりや日野町での生活の魅力を画像などで発信

▶都市部で開催される移住定住相談会への積極的参加（若者移住者と連携）

▶空き家活用物件の掘り起し（空き家登録可否の追跡調査）

(2) 移住相談機能の強化

▶相談窓口のワンストップ化＝移住定住コーディネーター配置